

視察報告書 町田市議会 個人視察（保守連合） 吉田つとむ
視察先 清溪セミナー 日本青年館
実施日 平成 26 年 11 月 14 日
携まず屈せず 一スクラム復興まちづくり 野田武則 釜石市長

日本青年館で開催される第 19 回清溪セミナーに前日に続き、2014.11.14 は 3 日目の清溪セミナーに参加しました。全体で超党派地方議員 130 名が参加しての会議でした。

この日は、釜石市長の野田武則氏の講演でした。

この釜石市と言えば、東日本大震災の津波被害に関して、地区防災センターに避難したのに多数の犠牲者が出た場所があったこと、他方、津波の高さ想定を超えて、高い場所に避難場所を変えて小学背全員と先生が共に助かった経験が対照的なニュースが知られた話でした。



前者で犠牲者が出たのは、防災センターと言う名称が避難所と考えられたものでした。後者は、避難 3 原則と言う、「想定を信じるな、どんな時でも最善を尽くす、率先避難者になる」という単純なスローガンが住民行動に活かされたものでした。それは、群馬大学の片田敏孝教授（平成 16 年から釜石の防災を研究し、平成 21 年から釜石市防災・危機管理アドバイザーを委嘱）が、伝授していたものであったと言うことでした。

また、中国人研修生も津波に関して、上記のような避難行動がスムーズであったとのことでした。経験がなかったことで、単純明快な原則に従ったようでした。

全体の話は、震災復興の話が「携（たま）まず屈せず」と言うテーマに添った

内容が中心でしたが、改めて当事者の野田武則 釜石市長から直接講演をお聴きしたことで、その印象が大きく残りました。